

DITAによる、ドキュメントと社内システムのコラボレーション

加藤 哲義[†]

マニュアルなどの文書コンテンツを、DITA に代表される XML で記述する目的、メリットのなかで、意外に見落とされがちなのが、社内システムからのデータをドキュメント上に統合できることである。設計、生産管理、品質保証、販売業務といった社内システムのデータを、顧客接点であるマニュアルコンテンツに、動的かつシステムティックに取り込むことで、社内リソースを総動員し、顧客満足を勝ち得る企業ドキュメンテーションが実現する。本発表ではその方法を、実演を通して具体的に紹介する。

[†]アートダーウィン合同会社